

油政連かながわ

第 8 号

平成18年11月25日 発行

発行所
横浜市中区万代町 3-5-3
石油会館
神奈川県石油政治連盟
☎045-641-1351

業界の構造的変革に対応しよう

神奈川県石油政治連盟

会長 渡 辺 治 夫



神奈川県石油政治連盟会員ならびに石油組合の組合員の皆さん、今年も残り少なくなって参りました。例えば石油業界は昨年にも増して一段と厳しい問題山積の年でありましたが、皆様には石油政治連盟・石油組合の活動にご理解とご支援ご協力を頂き有難うございました。

さて、今年は原油価格の高水準を背景に元売仕切りは常に値上げ基調に推移しました。その反面、小売市場は激しい生存競争の渦中に晒され、小売業としての適正利潤確保が困難な経営環境が続いた一年であったと思います。この原因は色々と考えられますが、石油製品小売業界は構造的に変化しつつあり、他業種の小売業とは違った、従来は考えられなかったような経営感覚や手法が求められているのではないのでしょうか。

当県の状況変化の特色は、先ずセルフＳＳの急増が挙げられその数は320ヶ所と全国第2位です。さらに直近の資料によると県内ＳＳ約1,300ヶ所（組合員1,120）に対するセルフ化率（全ＳＳに占めるセルフの比率）は24.6％と全国1位でしょう。また元売子会社の進出は他県より激しく大手元売各社が顔を揃えて直営ＳＳは200ヶ所を超え、販売シェアは拡大する一方です。また元売販社ＳＳや大手商社系・フリート系ＳＳに比べ一般の販売業者は不利と言われる仕切価格問題を始め課題は山積しています。

こうした業界地図の構造的な変革を見据えながら、私たち中小企業者の權益を守るには、

公正な市場環境の整備・公平な取引環境の構築が最大の課題です。このため行政側に対しても私たちは油政連の立場で事態認識を深めてもらうよう、これまでも運動を展開してきました。その結果、衆参両院議員109人を擁する「ガソリンスタンドを考える議員の会」では、国会議員をメンバーとする『独禁法改正PT』『流通構造改革PT』『環境保全対策PT』のプロジェクトチームを組み、現在石油販売業界が抱えている課題を詳細に分析して、対応策を具体的に提言していくことになり、既に検討が始まっています。

このPTでは、最近注目されているバイオ燃料問題、土壌汚染防止対策、ＳＳ地下タンク二重殻化への支援策、道路特定財源問題はもとより、不当廉売への課徴金・団体訴権の制度化も取り上げます。また元売の商標権乱用防止、片務的特約契約条項の見直し、カード問題、元売の小売市場進出の実態と弊害の把握なども検討テーマになっています。

なお、今年度からは、私たち神奈川県石油販売業界のトップリーダーである森洋県石油組合理事長が、全国石油政治連盟の会長に就任され、既に中央において関係各方面に向けた活動を行っています。私も微力ながら森会長を支える一員として全国油政連副会長・油政連関東支部長を拝命いたしましたので、引き続き旧来にも増したご鞭撻、ご支援のほど宜しくお願いいたします。

最後に、本会会員ならびに組合員の皆様には、来るべき新年を明るい話題で迎えられよう、益々のご活躍とご尽力をご期待申し上げます。

全国石油政治連盟会長に 森 洋 氏〔神奈川県石商・石協理事長〕



渡辺会長は副会長・関東支部長に就任

神奈川県石油政治連盟も加盟している「全国石油政治連盟」は今年5月の役員改選で、新会長に全国石油商業組合連合会・同協同組合連合会副会長でもある神奈川県石商・石協の森洋理事長を選任した。

また同時に、渡辺治夫神奈川県石油政治連盟会長が全国油政連副会長および全国油政連関東支部長に就任し、わが神奈川県石油販売業界のトップリーダーである両氏は全国組織の場でも業界の総意を結集して行政や政治に業界の意見を反映させる活動の先頭に立つことになった。

石油販売業界は原油高騰に伴う小売マージン圧迫、大資本の小売分野への進出による公正競争の阻害、環境問題から注目されている土壌汚染防止対策・バイオ燃料導入に絡むSS地下タンク入替え問題をはじめ、ガソリン税の一般財源へ流用阻止（本則税額への減税確保）、さらには長年の懸案である消費税とガソリン税の二重課税解消など、まさに問題山積の状況である。

このような環境の中で油政連への期待は非常に大きく、本県としても組合員一丸となって両会長をバックアップして行くことが望まれる。

▶▶ 安倍新内閣に神奈川から3氏 ◀◀

甘利 明 経済産業大臣
菅 義偉 総務大臣

田中和徳議員は財務副大臣に

このたび小泉純一郎内閣からバトンタッチして発足した安倍晋三内閣には、当県選出の甘利明衆議院議員（13区・一木会）が経済産業大臣に、菅義偉衆議院議員（2区・GS議員の会常任幹事）は総務大臣に起用された。何れも重要閣僚のポストで、菅氏は初の入閣、甘利氏は石油業界も直接管轄下におく要のポスト。

更に当県から田中和徳議員（10区・GS議員の会幹事長）が財務副大臣に、江崎洋一郎議員（比例）が財務大臣政務官に起用されている。

なお石油業界に馴染の一木会から尾身幸次議員（群馬県）が財務大臣に就任、GS議員の会からは大野松茂会長（埼玉県）が総務副大臣、渡辺博道議員（千葉県）が経済産業副大臣に就任した。

● 衆議院神奈川16区補選 ●

亀井善太郎氏が当選

— 父・故善之議員の遺志を継ぐ —

10月22日に投票が行われた衆議院神奈川16区の補欠選挙で、自民党推薦の亀井善太郎候補が、後藤（民主）笠木（共産）の両氏を抑えて初当選した。



亀井氏は先に死去した亀井善之議員の長男で、その遺志を継ぐ立候補となった。また今回の選挙は安倍内閣発足後初の国政選挙で与野党総力戦の選挙となったが、同日の衆院大阪9区補欠選挙と共に自民党が勝利した。

亀井善太郎氏は35歳。伊勢原市生れ、慶応大学卒、日本興業銀行・ボストンコンサルティング勤務などを経験し、平成17年から亀井善之議員秘書。

道路特定財源の一般財源化絶対反対

石油・自動車関連 4 団体が結集して

緊急総決起大会を開く

→一五〇人余の国会議員も参加して、趣旨に賛同した



ガソリン小売価格の半分近くを占めている「ガソリン税」は、徴税目的の道路整備費が余剰になったため、政府は道路特定財源の一部を「一般財源化」して目的外に流用する案を考えている。・・・

だが使途限定の目的税は、使途を変えるのではなく「目的以外に使う分は減税して消費者の過重負担を軽減することが本来のあり方」と主張する声は非常に大きい。・・・

昨年から「一般財源化に絶対反対」を唱え、900万人近い“反対署名”を集めた業界団体は10月24日東京・赤坂で『緊急総決起大会』を開き、強いアピールを行った。

この大会を主催したのは全国石油商業組合連合会、石油連盟、日本自動車連盟、自動車税制改革フォーラムで、23の関係団体代表800人が参加した。これに応じて会場に駆けつけた衆参両院の国会議員は150余人に及び「一般財源化阻止に賛成」の意見を述べ、決意表明をした。

→全国から八〇〇人を超える関係者が駆け参じた



当日は大会後直ちに、張富士夫自工会会長、渡文明石油連盟会長、関正夫全石連会長、森洋全国油政連会長らの業界団体トップが、自民党本部で中川幹事長、中川政調会長、丹羽総務会長、石原道路調査会長を訪問、政府に対しても冬柴国土交通大臣、甘利経済産業大臣、尾身財務大臣、菅総務大臣などにも要請を行った。なお大会に参加した全員は地元選出議員を中心に全国国会議員に対して一斉陳情を行った。



八八六万人の反対署名に埋もれて意気盛んな関係団体の首脳

	本則税率	暫定税率
揮 発 油 税	24.3円／ℓ (ガソリン)	48.6円／ℓ
地 方 道 路 税	4.4円／ℓ (ガソリン)	5.2円／ℓ
軽 油 引 取 税	15.0円／ℓ (軽油)	32.1円／ℓ
石 油 ガ ス 税	17.5円／kg	7.5円／kg
自動車取得税	取得価格の 3 %	取得価格の 5 %
自動車重量税	2,500円／0.5 t	6,300円／0.5 t

《道路整備財源のからくり》

昭和20年代30年代に創設された道路整備財源確保のための税金は、それぞれの法律で本則税率の額が決められている。その後の財源不足を理由に暫定措置として再三増税を積み重ね、今日に至っているのが暫定税率。

従って財源が充足されてきた現在では、暫定税率分は可能な限り本則税率まで戻すべきもの。蔵出し税方式は納付が確実・徴税経費は少ないのでこのまま据置いて使途を一般財源に移す考え方は、国民を騙すことに等しい。



渡辺神奈川県油政連会長は緊急総決起大会直後に河野太郎・自民神奈川県連会長(写真左・小泉前総理の事務所)を訪ねて一般財源化反対を訴えた。(前ページの続き)



どうする？地下タンクの入替え

< 欠かせない土壌汚染防止対策 > ・ < 話題沸騰のバイオ燃料導入 >

S Sで現在使われているガソリン・軽油用の地下タンクは「早い時期に二重殻タンクに入替えないとS Sの営業が出来なくなる」とマスコミや元売会社は最近盛んにアピールしている。やがてそうなるのは必至であろうが、多額の投資となる工事で、販売業者の死活にも係る重大問題であり、事の本質をしっかりと認識して対処しなければならない。

地下タンク入れ替えを必要とする要因は二つある。一つは「最近話題のバイオ燃料をガソリンに一定比率で混入して排気ガス浄化を推進しようとする計画の具体化」、二つ目は「既に埋設から15年以上経過した地下タンクが多いわが国の現状から、タンクや配管からの油漏れが心配され、S S周辺の土壌汚染防止策を早急に進める必要がある」と言う問題である。

どちらも将来を見据えた重要な課題ではあるが『明日に迫った問題はどちらか？』と言うところが今の最大関心事である。

欧米は20年前から汚染防止対策

二つの要因のうち、今の段階で販売業者にとってどちらが重要かといえば、明らかに二つ目に挙げた土壌汚染防止対策である。既に“S S跡地を処分する際に油漏れがあり浄化処理に数千万円かかった”と言う事例は幾つも聞かされている。従って老朽化した地下タンクや配管は早めに漏洩防止対策を取ることが先決で、国や元売がバイオ燃料導入を急ぎ始めたこと以前の問題といえる。

欧米の石油業界では、バイオエタノール燃料問題が起こる遥か前の1980年頃からS S地下タンク二重殻化を政策として進めてきた。その原因はS S地下タンクからの漏洩が地下水を汚染し社会問題化したからである。従って10年ほど前にガソリン・軽油にバイオ燃料(E 3 ~ E 10, E T B E)が導入された段階では地下タンク入替え問題は既に過去の事であり、新燃料は大きな抵抗なく受け入れている。

バイオ燃料も4年後に迫る

しかしわが国では、この二つの問題が一気に噴出した感がある。目下の喫緊の課題は漏洩防止だが、4年後(2010年)にはガソリンにバイオ燃料を3%混入した製品を元売が市場に出荷する方針が決まっている。これは地球温暖化対策の京都議定書目標達成計画によるもので当初50万kl導入が想定されているが、最近の政府関係者の意見では近い将来に国産で600万klを目指すとの発言もある。ただし現在は元売がE T B E導入、行政側の関係省庁はE 3 ガソリンとB D F (バイオディーゼル燃料)に見解が分かれており、幾つかの機関が実施中の安全性確認実証実験などを経て、どんな製品が市場に出るか注目される。一方、販売業者にとってこの問題は「多大の費用負担を強いる国の政策転換」でもあり、改修資金助成の制度化をふくめた行政による措置の実現が、これからの油政連活動の最重要課題となる。

平成19年度予算ヒヤリング 「ガソリン二重課税排除」など 県と国へ8項目の要望を提出

神奈川県石油政治連盟は、平成19年度の国及び県への予算要望8項目をまとめ、7月18日に行われた自民党神奈川県議連のヒヤリングにおいて、国へ5項目、県へ3項目を要望した。

《国への要望》

1. 道路財源であるガソリン税の一般財源流用反対及び本則税率に戻す措置の実現について

ガソリン税53.8円/ℓは、道路特定財源に余裕が生じるなら本則税率の28.7円/ℓに戻し、国民の自動車燃料費負担軽減を図るべきで、一般財源化には断固として反対する。

2. ガソリン税と消費税の二重課税の排除

平成元年に導入された消費税はガソリン税との二重課税を速やかに解消されたい。

3. 不当廉売等の不公正取引に迅速・厳格な取締りの実現

石油の小売市場は大企業の販売子会社や大手流通業者が直営SSを運営し安売りを繰り返している。この背景には合理的な範囲を超えた仕切り格差が存在すると考えられる。一刻も早く実効ある措置を具現化してほしい。

4. 共同受注事業の積極的利用について

官公需適格組合と契約している官公庁は大規模災害時等の緊急時にも優先供給出来るの

次期参議院議員選挙（比例区候補）

全国油政連は 森元恒雄議員を推薦



平成19年7月11日に投票が行われる第20回参議院議員選挙に際して、全国石油政治連盟は「比例区」の候補を現職の森元恒雄氏一人に絞って推薦することになった。

森元議員は1947年6月生れ、大阪府出身。自治省を経て、2001年の選挙で当選。ガソリンスタンドを考える議員の会常任幹事。

で、石油組合の共同受注をさらに活用するよう、関係機関を指導して欲しい。

5. 軽油引取税交付金の増額

軽油引取税特別義務者への報奨金2.5%交付は納得いかない。最低3%以上に増額して欲しい。

《県への要望》

1. 軽油引取税脱税行為の防止・取締り徹底

軽油引取税脱税には一段と強い取締り措置が必要で、①路上抜取検査を、税法上の明確な制度として規定すること。②納税申告後に意図的に滞納する悪質行為には、より効果的な立ち入り検査・摘発体制を構築すること。

2. 共同受注の積極利用

この項は、国への要望と同じ趣旨。(内容略)

3. 軽油引取税交付金増率

この項は、国への要望と同じ趣旨。(内容略)

（GS議連のプロジェクトチーム）メンバーと検討テーマ

▽独禁法改正PT

座長＝西川公也、
主査＝宇野治、
委員＝松本洋平、牧原秀樹、
遠藤紀彦（衆院）

〈テーマ〉

- ・不当廉売等への課徴金制度導入、団体訴権制度実現
- ・元売商標権の乱用防止
- ・特約店契約の片務契約条項見直し

▽流通構造改革PT

座長＝吉田六左エ門
委員＝平田洋、鍵田忠兵衛
安井潤一郎、長崎幸太郎、
佐藤ゆかり（衆院）

〈テーマ〉

- ・小売市場へ元売進出の実態と弊害事例の把握
- ・発券店値付けカード対策
- ・分離法等の研究
- ・中小SS事業者経営安定

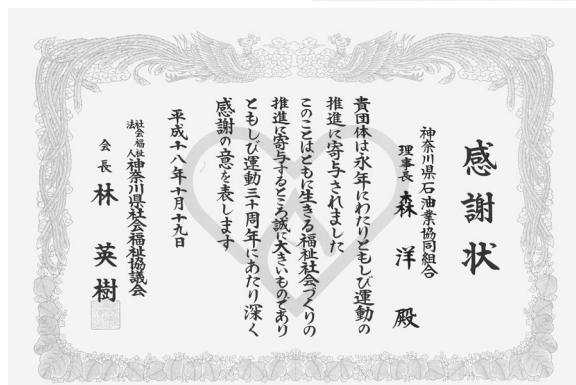
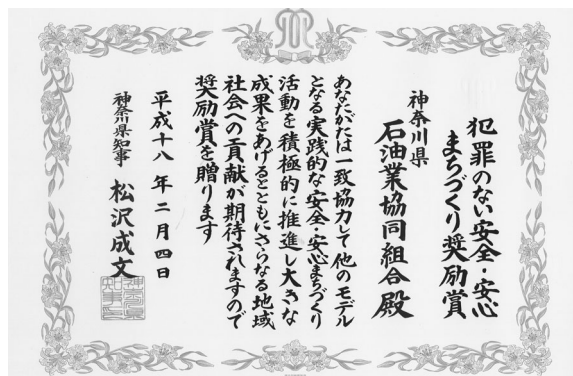
▽環境保全対策PT

座長＝岩永峯一、
主査＝加藤勝信、
委員＝西村康稔、萩原誠司、
上野賢一郎（衆院）

〈テーマ〉

- ・土壌汚染・バイオ燃料導入による影響
- ・地下タンク二重殻化への支援措置等の検討
- ・道路特定財源に係る検討

SSの社会貢献活動に感謝



神奈川県石油業協同組合は、地域住民の皆さんと共に歩む「かけこみ110番運動」など、街のガソリンスタンドを通じた社会貢献活動を10年ほど前から実施してきた。毎年秋に横浜駅東口側の新都市プラザで開く「街頭イベント」では8,000人近い市民がアンケートに回答し、リピーターも増えて好評の「めざましクラシックスinヨコハマ・石油の日チャリティーコンサート」には毎年150～200人の交通遺児招待および収益金を社会福祉団体に

寄付する活動を続けている。

このような運動は各方面から注目されて、石油組合は今年、3つの表彰状や感謝状を授与された。

写真＝(上) 県知事から「犯罪のない安心安全まちづくり奨励賞」、(左) 県社会福祉協議会長から「ともしび運動30周年・感謝状」、(右) 全石連会長から「地域貢献活動の積極推進・表彰状」

◎ 豊富な品揃えです……共同事業を積極的に活用しましょう ◎

◇各種共済(保険)

- ☆SS総合共済 ☆賠償責任共済
- ☆SS土壌保険 ☆受託自動車保険
- ☆中型生命共済 ☆経営者生命共済
- ☆経営者年金共済 ☆新医療保障共済
- ☆特定退職金共済 ☆SSマネーガード保険
- ☆パートタイム労働者見舞金制度

◇SS管理は早めの措置が勝ち

- ☆産業廃棄物の処理 ☆地下タンク定期点検
- ☆計量器再検定 ☆計量器自治管理
- ☆地下タンク撤去・入替え補助制度
- ☆キャノピー灯ランプ購入／交換 ☆消火器
- ☆品確法関連看板 ☆危険物看板各種

◇良質・格安な給油所の必需品

- ☆洗車用タオル ☆贈答用タオル
- ☆POS用ロールペーパー
- ☆POS伝票
- ☆手書き伝票 ☆請求書／領収書 ☆封筒類
- ☆POSファイル ☆POSカード／ケース
- ☆インクリボン ☆トナーカートリッジ
- ☆オイルチェックシート
- ☆オイル交換ステッカー
- ☆簡易補修セット

◇有利な仕入れのお手伝い

- ☆ガソリン携行缶 ☆ワイパーブレード
- ☆ルブテックオイル

神奈川県石油政治連盟 常任委員

役職名	氏 名	組 合 役 職	役職名	氏 名	組 合 役 職
会 長	渡 辺 治 夫	副 理 事 長	会計責任者	植 栗 正 光	事 務 局 長
副 会 長	森 洋	理 事 長	常 任 委 員	大 貫 嘉 徳	東 部 地 区 議 長
副 会 長	上 野 誠	副 理 事 長	常 任 委 員	鈴 木 基	中 部 地 区 議 長
副 会 長	鮫 島 康 孝	副 理 事 長	常 任 委 員	井 上 和 足	西 部 地 区 議 長
副 会 長	鶴 岡 勉	副 理 事 長	常 任 委 員	志 村 昭 和	北 部 地 区 議 長
副 会 長	長 島 康 郎	副 理 事 長	常 任 委 員	松 山 慶 三	南 部 地 区 議 長
副 会 長	木 所 章	副 理 事 長	監 事	川 田 善 久	監 事
副 会 長	後 藤 元 信	副 理 事 長	監 事	小 泉 光 一 郎	監 事
副 会 長	矢 部 雄 三	専 務 理 事			

神奈川県石油政治連盟 地区部会長

地区	地 区 の 範 囲	氏 名	会 社 名	組 合 支 部
1	横浜市中区・磯子区・金沢区	高 野 亨	富倉興業(株)	横 浜 中
2	横浜市西区・港南区・南区	利根川 修	東邦礦産(株)	港 西
3	横浜市鶴見区・神奈川区	齋 藤 康 治	喜久興産(株)	鶴 見
4	横浜市栄区・鎌倉市・逗子市・葉山町	森 哲 夫	(有)森商会	湘 南 鎌 倉
5	横浜市瀬谷区・戸塚区・泉区	大 貫 芳 夫	(有)大貫商事	戸 塚
6	横浜市保土ヶ谷区・旭区	露 木 勝	露木石油(株)	旭 瀬 谷
7	横浜市港北区・都筑区	吉 山 昌 秀	山和石油(株)	港 北
8	横浜市青葉区・緑区	長 野 一 之	(株)長野商事	緑
9	川崎市多摩区・麻生区	木 所 章	(株)木所	川 崎 北
10	川崎市川崎区・幸区・中原区	穴 澤 順 之	巴商事(株)	川 崎 中 央
11	横須賀市・三浦市	松 山 慶 三	光陽石油(株)	横 須 賀 三 浦
12	藤沢市・高座郡	富 田 良 一	(株)遠藤石油	藤 沢
13	大和市・海老名市・座間市・綾瀬市	遠 藤 正 道	(有)丸谷商事	高 座
14	相模原市（南部の4出張所除く）	八 木 繁 雄	(株)八木商店	北 相
15	茅ヶ崎市・平塚市・中郡	藤 嶋 正 嘉	相石輸送(株)	湘 南
16	厚木市・伊勢原市・津久井郡・愛甲郡・相模原市の南部(麻溝・新磯・相模台・相武台)	原 寿 美	(株)原商会	厚 木
17	秦野市・小田原市・南足柄市・足柄上郡・足柄下郡	井 上 和 足	井上商事(株)	足 柄
18	川崎市高津区・宮前区	木 所 章	(株)木所	川 崎 北

〈きりとせん〉

**油政連
新会員募集**

**年会費（一口当たり） 個人会員 8,000円
法人会員 9,600円**

〈法人会員は「自由民主党神奈川県石油販売業支部への寄付」となります〉

◇加入申込みは、下記に記入・捺印のうえ郵便で「県石油政治連盟事務局」へお送り下さい。

加 入 申 込 書

神奈川県石油政治連盟
会長 渡 辺 治 夫 殿

平成 年 月 日

Ⅰ 個人会員として申し込みます		Ⅱ 法人会員として申し込みます	
ふりがな		ふりがな	
氏 名		会社名・代表者	
	(〒)		(〒)
現 住 所		現 住 所	
電 話		電 話	
会 社 名		加入する営業所	
	(役職)	担 当 者 名	(役職)

◆申込書の送付・お問い合わせは 〒231-0031 横浜市中区万代町3-5-3 電話 045-641-1351

通知書を現住所以外に送付する場合の送り先	〒	[電話]

事業主と従業員の負担軽減

医療費の節約は「ジェネリック医薬品」で

当健康保険組合では、先発医薬品より2割から8割安い後発医薬品（ジェネリック医薬品）への変更を被保険者及び家族の方へ直接お願いをしています。

ジェネリック医薬品は、有名俳優さんを使ったコマーシャルで、既にご存知の方もいらっしゃると思いますが、高血圧症、糖尿病、心疾患など成人病の多くは一生薬を服用しなければならない人にとって、大変な薬代がかかります。

そこで、ジェネリック医薬品を使った場合の節約の一例をシミュレーションしてみました。

1ヶ月（30日）当たりの金額

	先 発 品	ジェネリック医薬品	差 額
高 血 圧 症	810円	180円	630円
高 脂 血 症	1,350円	630円	720円
糖 尿 病	1,890円	990円	900円
胃 潰 瘍	2,250円	1,530円	720円
花 粉 症	1,350円	630円	720円

※ あくまでも一例です。実際に支払う金額とは異なりますが長時間服用する場合、差額は大きなものとなります。

《参考》【厚生労働省ホームページ（<http://www.mhlw.go.jp/>）】

【エルメッドエイザイ㈱ホームページ（<http://www.emec.co.jp/>）】

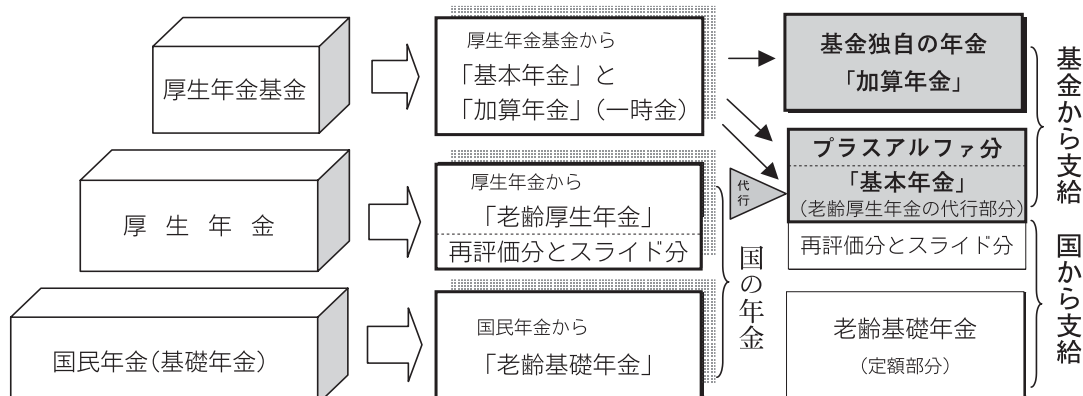
神奈川県石油業健康保険組合 Tel 045-641-2473

石油厚生年金基金に加入して

ゆとりあるセカンドライフを!!

神奈川県石油業厚生年金基金は、国の厚生年金の一部（老齢厚生年金）を国に代わって運営し、基金独自の給付設計で「上乘せ給付」を行うことを目的に設立された基金制度です。基金はみなさんの将来のライフプランをバックアップしています。

■国の年金と基金の年金の関係 《支給される年金》【基金に加入している人の年金】



厚生年金基金のメリット

1. 事業主が掛金をより多く負担して、加入員は国の年金だけよりも多い年金を終身受けることができます。
2. 国の老齢厚生年金は、原則として25年以上の加入期間が必要ですが、厚生年金基金の年金は加入員期間が1カ月以上あればその期間に見合う年金が支給されます。
3. 加算年金は、希望により選択一時金として受けられます。

詳細は TEL 045-681-0825 へ 神奈川県石油業厚生年金基金